

相似地震により推定された準静的すべりの時間変化

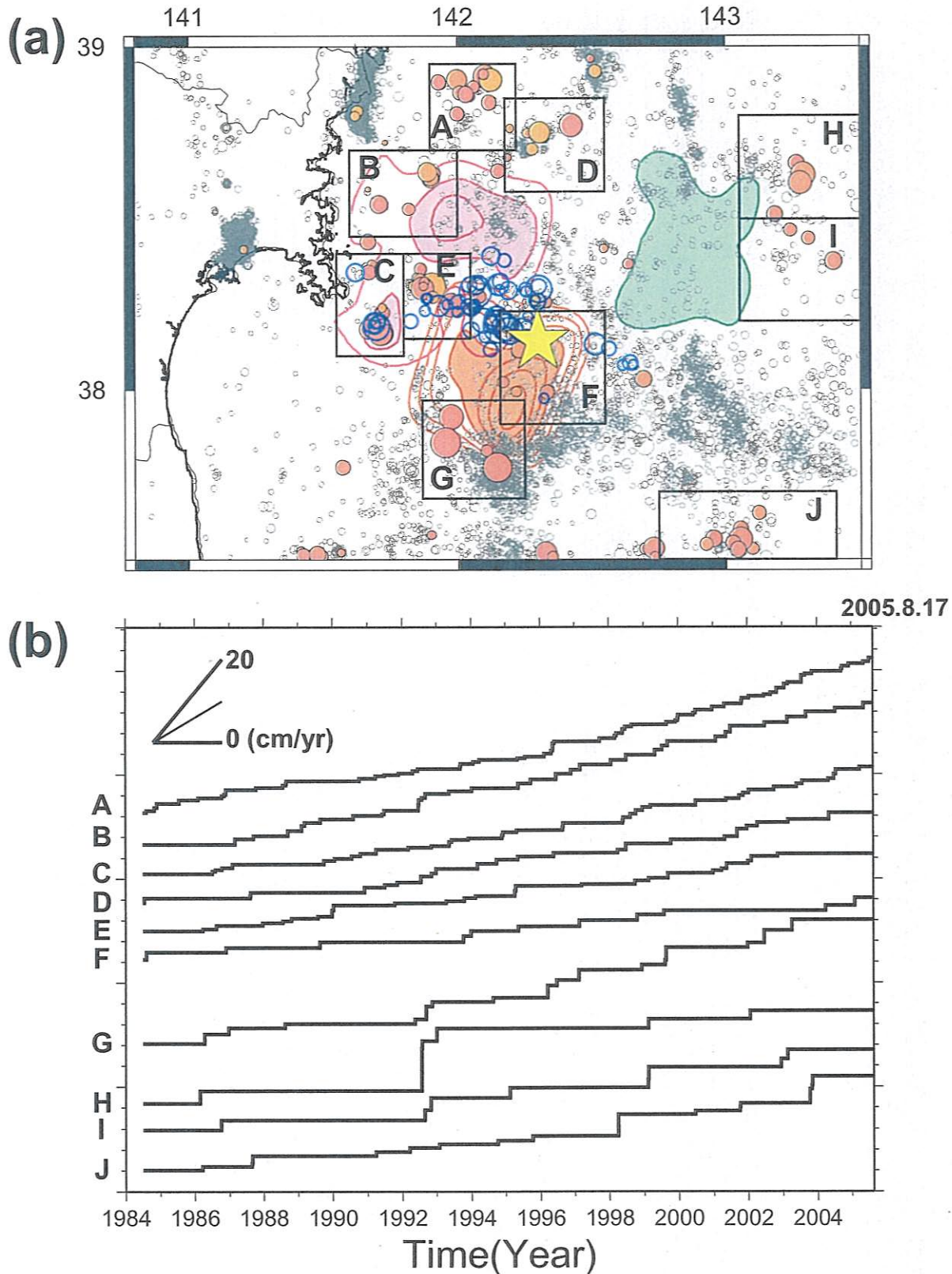


Fig.12 (a) 宮城県沖の相似地震グループの分布(橙色丸). 解析期間は1984年7月～2005年8月17日. 相似地震はM2.5以上の地震について、2-8Hzの波形のコヒーレンスを用いて抽出した. 本震後2日間に図の領域で抽出された相似地震はなかった. 灰色丸と青色丸はそれぞれ2002～2005年2月の70km以浅の地震および本震後2日間の余震. コンターはYamanaka and Kikuchi (2004)によるアスペリティを示す. 本震(黄色星)の位置は東北大それ以外のすべての震源は気象庁による. (b) (a)の領域A～Jに存在する相似地震グループの平均の積算すべり. すべり量の推定にはNadeau and Johnson (1998)の関係を用いた.